

特定非営利活動法人日本磁気共鳴専門技術者認定機構

2013 年度総会・第 1 回理事会議事録

期 日：2013 年 6 月 28 日（金）15:00～16:30

場 所：公益社団法人 日本放射線技術学会 東京事務所

出席者：新津 守，川光秀昭，菊地克彦，熊代正行，清水 徹，土井 司，錦 成郎，
内田幸司，笠井治昌，小倉明夫（委任），寺田理希（委任），高橋光幸（委任），
大野誠一郎（委任），中島康雄（委任），山下康行（委任） 出席 9 名，委任 6 名

報告事項 [2013 年度総会審議事項(1)(2)(3)]

1. 第 8 回 MR 専門技術者認定試験，第 3 回認定者更新報告

(1) 2012 年度第 3 回理事会以降、スケジュール通りに作業を遂行した

3 月 13 日 第 3 理事会（メール会議）：MR 専門技術者認定試験合格者の認定
第 3 回認定者の更新の認定

20 日 認定試験合格証と不合格証の発送

4 月 1 日 更新認定証，上級 MR 専門技術者認定証の送付

4 月 20 日 第 8 回日本磁気共鳴専門技術者の認定の申請手続き締め切り

5 月 1 日 第 8 回申請者日本磁気共鳴専門技術者認定証の発行

(2) 第 8 回認定試験合格者 [資料 1]

54 人 所属団体 JMRM：27 人，JRC：2 人，JSRT：44 人，JART：40 人
男性：47 人，女性：7 人

(3) 第 3 回認定 MR 専門技術者の更新状況 [資料 2]

49 人 / 50 人 内 15 人を上級磁気共鳴専門技術者に認定

LSMR117 は今回の安全管理講習会を受講予定が家庭の事情で叶わなかった。

2. 会計報告 [資料 3]

2012 年 6 月 1 日から 2013 年 5 月 31 日までの収支決算を報告

3. 監査報告 [資料 4]

問題なしということで、2012 年度事業を承認した。

議事 [2013 年度総会審議事項(4)(5)]

1. 2013 年度の事業スケジュールについて

2013 年 6 月 28 日 第 1 回理事会 第 9 回試験のスケジュールの決定

試験方式の検討，試験作成検討委員の選出（関東地区）

2013 年 7～8 月 MR 性能評価試験の見直し改訂

2013 年 9 月初旬 認定試験作成委員への試験問題作成依頼

2013年9月中旬 各団体の会誌ならびにHPで第9回試験案内の広報
2013年9月20日～10月10日 MR医療安全セミナーの申込み受付
2013年11月9日 MR医療安全講習会（大阪大学医学部附属病院の予定）
2013年11月11日～12月12日 第9回認定試験申請受付
2013年12月14日～21日 第9回認定試験書類審査
2014年1月中旬 第2回理事会 認定試験受験者の認定
試験準備ならびにスケジュールの確認
2014年1月下旬 第4回認定MR専門技術者更新手続きの案内状送付
2014年2月1日～28日 第4回認定試験合格者の更新受付
2014年3月9日 第9回MR専門技術者認定試験（慶應大学の予定）
2014年3月中旬 第3回理事会 認定試験合格者の認定

2. 第9回認定試験作成委員の任命（関東地区の専門技術者を中心に構成）

認定試験作成委員長 1名

認定試験作成委員 8名に に試験作成委員を依頼する。

認定試験実行委員会は別に関東圏内の方に依頼する。

3. 第9回認定試験の検討

（1）試験日程，出題傾向と回答方法

2014年3月9日（日）慶応義塾大学東校舎講堂：安全管理講習会

第二校舎講堂：試験会場

回答方式：第8回（2012年）と同じマークシート方式

（2）認定レベルについて（今後の認定機構の方針と方向性）

多くの認定技術者を輩出してほしいというMR医学会将来構想委員会からの要望もあるが、本来、精度管理，安全使用管理，MR技術者のレベルアップを主旨としているので、教育などの方策は講じるが試験のレベルは維持する。

（3）書類審査について

新しいAAPM基準に則れるように試験方法を見直す。

神戸大学病院、島根大学病院のスタッフにお願いする。

（4）更新講習会の開催

今のところ、第8回（2012年）と同じようなプログラムを予定

4. 第4回認定者の更新

（1）第4回認定試験合格者への更新通知 [2014年1月下旬]

（2）申請書と更新のための個人票の提出 [2014年2月1日～28日]

（3）更新審査（第9回認定試験時）[2014年3月9日]

（4）結果通知と第4回更新認定書・上級磁気共鳴専門技術者認定書の発行 [2014年4月]

5. 第5回 MR 医療安全セミナー

(1) 大阪会場

開催日：2013年11月9日(土)10時～18時

開催場所：大阪大学医学部附属病院カンファレンス室・MR検査室

講師は関西の専門技術者で構成する。

内容・資料は昨年に準じる。更新講習会として認める。

(2) 他会場

他地区でも同様の内容でMR医療安全セミナーが開催できないかを打診する。

6. 各地区の推奨条件のホームページへの掲載活動について

例年通り活動依頼を出す、積極的な活動推進は行わない。

7. 機構の新規事業について

(1) 性能評価法の見直し

(2) 学術研究班の結成と支援

テーマを決めて協力者を募る。機種間の比較をテーマとする。

- 1) テーマ 「肝臓領域の3次元 T1 強調撮像法の比較」
「頭部領域の動きに強いと言われている撮像法の比較」

- 2) 申込方法 活動計画や経費使用計画を添えてチームで申し込む
班長は磁気共鳴専門技術者に限る。班員はその限りでない。
活動費は1班最大50万円とする。

内容が機構の意向に添っているかを基準に審査する。

(3) MR 認定技術者のレベルを示唆する教育システムの構築の検討

1回だけ教育講演会を開催し、それをコンテンツとして e-learning を作成する。

認定技師資格を取得するのに最低限取得してほしい内容で構成する。

内容構成(シラバス作成)を検討し、今年度中の開催を目指す。

8. 理事長・委員の任期について

(1) 総会の開催時期

2015年第1回理事会・総会時に次期理事長を承認できるようにすすめる。

(2) NPO 法人の維持のために

司法書士費などの必要経費が生じるが現状を維持する。

(3) 衛生・臨床検査技師会について

なかなか専門技術者が出現しないが、理事の再推薦を依頼する。

以上